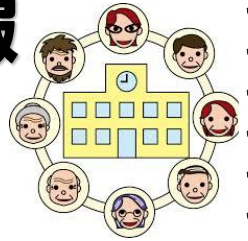


厚陽っ子だより



平成 29 年 3 月 15 日 (第 25 号) 厚陽学校支援地域教育協議会

春の陽気が見え隠れする三月半ば、中学校では和やかな雰囲気のもと、卒業式が行われました。この広報がお手元に届く頃には、小学校の卒業式、続いて保育園の卒園式ですね。皆さん、ご卒業・ご卒園、本当におめでとうございます。

学校や保育園、PTA、そして地域・・・皆さんの支えあいの中で、たくましく育ててくれた“厚陽っ子”たちが、今後も元気に成長し、将来に向かって力強く歩いていける大人になってくれたらと思っています。

★優良公民館表彰 受賞報告を行いました★

公民館だよりでもお伝えしましたが、文科省での表彰式が終わりましたのでご報告します。早速、いただいた表彰状と表彰楯をお土産に、小野山館長と公民館運営協議会の千々松会長の二人で、3月8日、白井市長、江澤教育長のところへ受賞報告に行ってきました。

表彰内容として、「学校と地域の連携（関係づくり）について、公民館がお手伝いさせていただいている」という点はお知らせしたとおりですが、

- ・公民館利用者や地域の皆さんのボランティアへのご協力
- ・コーディネーターさんと公民館の協力体制
- ・学校と地域の一体的な仕組みづくり（支援から協働へ）
- ・自治会長の協力による“厚陽っ子だより”の班回覧

などについても、評価をいただきました。

【市長報告のようす（市長室にて）】

報告の際には、長年の緑花活動に中学生が関わっていることもお話し、「厚陽の子どもたちは、しっかりと地域の中で育っています」

と、市長や教育長にお伝えしました。市長からは「このような取り組みは、他の公民館にも刺激になりますね」とのお話があり、この度の受賞をたいへん喜んでおられました。



今回は公民館ではなく、厚陽の皆さんに対する表彰だと捉えています。

いつも変わらぬご支援・ご協力をありがとうございます。（裏面に続きます）

★第6回地域教育協議会★H29.2.14(火)

【書道教室による学習支援】

年度末ということで、学校支援活動の振り返りや新年度に向けた課題などを、皆さんで出し合いました。

この一年間、たくさんの活動を行ってきましたが、少しずつ、学校と地域の関係が変わってきたと感じています。厚陽地区の特徴は、“学校と地域が一体的に動いていく”というところにあります。

話し合った課題はしっかりと新年度につなぎ、誰もができるときに、できる範囲の支援を進めていきたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。



★第3回学校運営協議会★H29.2.28(火)

こちらで学校評価のお話を中心に、各部会での取り組み説明があり、熱心な意見交換が行われました。皆さんで話し合うことにより、子どもたちの学校内・家庭内・地域内での様子が共有でき、とても有意義な時間になったと思えます。

“一人でも多くの方に、学校へ足を運んで欲しい”という話題がでましたが、やはり「授業を見てもらうこと」だと思えます。子どもたちの様子から、そこに向き合う先生の姿まで、「授業」から感じられることは本当に多いです。

★第3回学校いじめ対策委員会★H29.3.13(月)

専門機関や委員の方々を招き、学校の様子や指導について意見交換を行いました。“人間関係の固定化”といった様々な話題が出ましたが、“子どもの変化”“信頼関係”といったキーワードもたくさん出ていました。子どもの様子に注意して欲しいのはもちろんですが、気づけなかった人を責めるのではなく、誰かが気づいて教えてあげられるような環境であって欲しいと思えます。



☆コーディネーターより ~今年度を振り返って~ ☆

今年度は、新しい取り組みが増え、地域と学校との交流が盛んになりつつあります。そのような年にコーディネーターをさせていただき、早くも一年が経ちますが、今一番思うのは、厚陽は地域の絆が深いという事です。一人の方にボランティアをお願いすると、自然と支援の輪が広がり、多くの方に子どもたちとの交流をしていただけました。また、失敗することも多々ありましたが、その都度一緒に改善策を考えてくださいました。

来年度は地域と学校、そして保育園と、私自身も厚陽での結びつきを深めていけるよう努めますので、これからも皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

学校支援をはじめ、各種活動にご協力いただける方を募集しています。

できる時にできる範囲で構いません。お気軽に事務局までご相談ください♪

【厚陽学校支援地域教育協議会事務局】 TEL74-8400 (厚陽公民館 担当：増本)

